

江東豊洲病院
コラム
(毎月発行)

昭和大学江東豊洲病院 こども病院だより

～女性とこどもに優しい病院～

第3回 | 心の傷にも包帯を

子どもの負の感情を 否定していませんか？

子どもは大人の気持ちなんてお構いなしに行動します。幼児であれば、急に走り出したり、泣き出したり。2歳頃のお子さんにみられる通称”イヤイヤ期”は、発達段階では自立への一歩と考えられる大切な時期ですが、この時期の子どもは泣いている理由がわからなかったり、説明しても理解してくれなかったりするので、子育て中のご両親は大変です。一方、この時期をすぎても、よくわからない理由で不機嫌になったり、他人に攻撃的になったり、問題行動を起こす子どもはたくさんいます。何か嫌なことがあって心に傷を負った場合、自分の心の中にあるその負の感情の正体やそれに対する対処法がわからず、戸惑ってしまうからだと思います。**子どもの頃の心の傷には、ご両親など周囲の大人が包帯をする必要があります。**嫌な気持ちの理由をよく聞いて言葉にしてあげたり、抱きしめたりしてあげることで、子どもの心の傷は癒えていくものです。そして、自分の心の傷に自分で包帯をすることができるようになった時、子どもは本当の意味で自立していくのだと思います。

ただ、心の傷は見えただけに厄介です。心に傷を負ったまま手当のされない子どもは、他人を攻撃し傷つけることで、自分の心の傷を癒そうとします。

子育てがうまくいかないと 感じたら

最近自分の機嫌を自分でとれない大人が増えたと思います。自分の心の傷に自分で包帯をすることができず、攻撃的になるのです。ストレス社会で子育てへのサポートも十分とは言えない環境の中、日々奮闘しているご両親には本当に頭が下がります。ただ、子どもの心の傷に包帯をするべき大人自身が、心に傷を負って血を流しているのだとすれば、子育てがうまくいかないのも当然なのかもしれません。

「心の傷にも包帯を」この言葉は30年ほど前に当時の中学校の担任の先生から聞いた言葉なのですが、今では小児科医として働き、子育て中の自分にとっての座右の銘になりました。子育てがうまくいかないと感じた時には、自分の心に傷がないかを考えるようにしています。もし心に傷が見つかったら包帯が必要です。



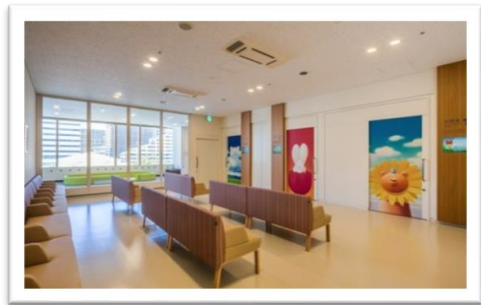
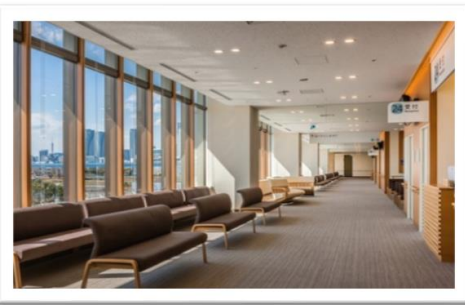
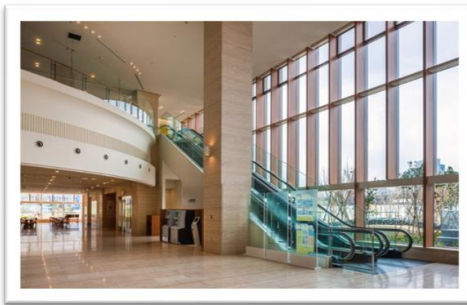
NICU 責任者
中野 有也 (なかの ゆうや)
好きな食べ物：お刺身
出身地：北海道

自分で解決できなかつたら周囲に助けを求めましょう。心に傷を負った人に手を差し伸べられるような社会であつたら素敵ですね。小児科医も含めて、子どもに関わる全ての大人は、子育て中のご両親や子ども自身に対して、包帯をできる立場にいるのではないかと思います。

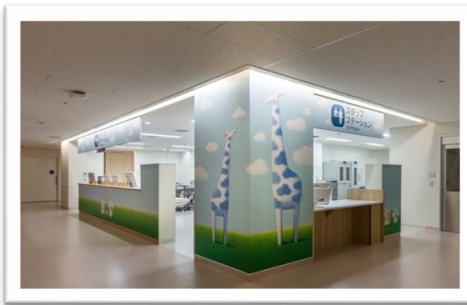


昭和大東豊洲病院 Room Tour

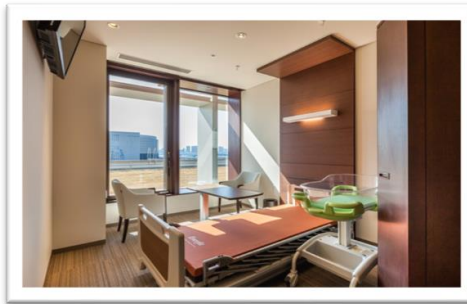
昭和大東豊洲病院を身近に感じもらうために、院内の一部をご紹介します



解放感のある正面玄関を通過して、2階に外来があります。廊下の同線も広く、見晴らしのよい外来待合いです。



こどもセンター病棟では、事前にPCR検査を受けてもらい**ご家族の付き添い入院**も可能です。

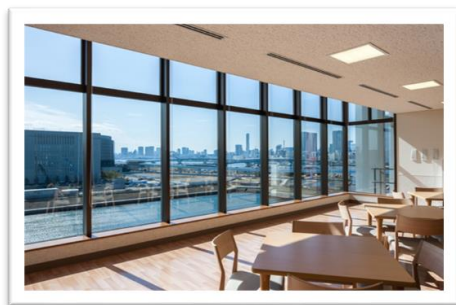


分娩を行うお部屋(写真は個室)も広く、無痛分娩にも対応しています。

立ち合い分娩も再開に向けて準備中です。(分娩ホームページでも公開)

また、当院ではNICUが15床あり、母乳バンクに登録しています。

分娩ホームページもリニューアルしました、是非チェックしてみてください！



NICU：新生児集中治療管理室のこと。予定日より早く生まれた赤ちゃん(早産児) 体重が小さく生まれた赤ちゃん(低出生体重児)、病気の治療が必要な赤ちゃんなどが入院している集中治療室のこと



受診のお手続きについて

- (1) 初診受付時間 (月曜日～**日曜日**)
8:30～14:00
※時間外については救急センター
で対応しています
- (2) お問い合わせ
03-6204-6000 (代表)
(ご予約が無くても受診は可能です)
- (3) その他

当院に関する情報は右記QRコード
をお手持ちのスマートフォンで読み
取りください。

